

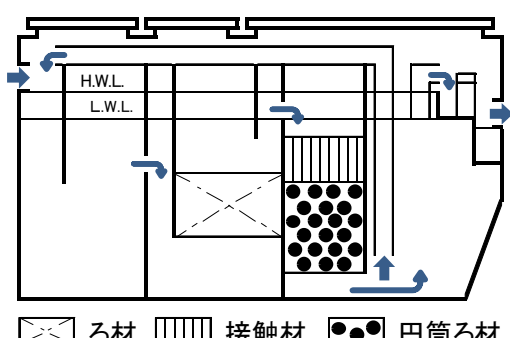
事例37 移流開口にキャップを取付けた水質改善事例（保守）

1. 基本情報および一年間の測定結果



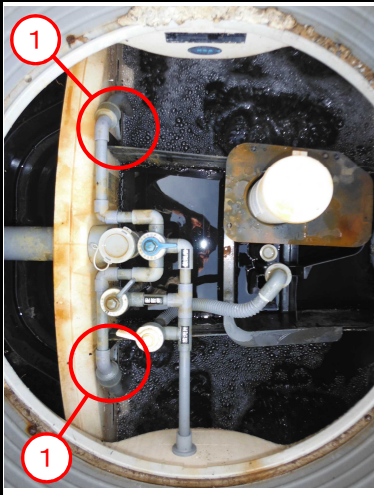
処理方式	性能評価型 窒素除去型	作業予定月	
メーカー/型式	フジクリーン工業(株)/CE型	保守点検	3・7・11月
人槽/使用人員	7人槽/4人使用	清掃	1月
日平均汚水量	0.62m ³ /日	法定検査	9月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		処理水槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
清掃	平成26年1月21日	30	/	7.5	15	0	32	/	16	/	/
保守	平成26年3月24日	35	6.7	7.4	14	0	10	0	10	0	0
保守	<u>平成26年7月16日</u>	21	3.8	7.0	17	0	13	0	14	0	5
法定	平成26年9月12日	37	4.4	6.9	21	0	17	0	17	0	5
保守	平成26年11月17日	33	5.2	7.2	18	3	24	1	12	0	6



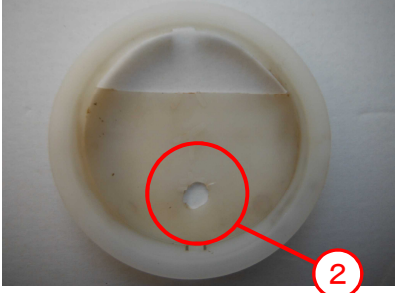
2. 浄化槽の概要図と法定検査時の設定状況

概要図		法定検査時の設定状況	
		メーカーの基本設定	保守点検の設定
	循環水量	2Q~4Q 0.86~1.72 L/分	停止
	放流バルブ	40%	90%


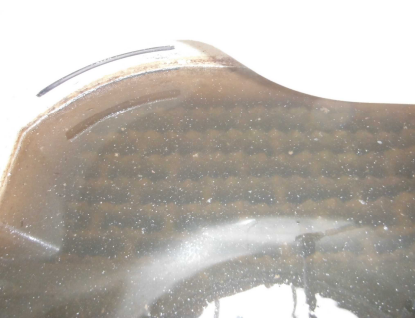
3. 法定検査時の槽内状況

1次処理1室	1次処理2室	2次処理/処理水槽
		
スカムが生成するようになる	異常なし	①キャップ取付箇所 (2次処理への移流開口)

4. 水質改善対策方法

取付前	取付後	キャップの外観
		
2次処理側	①取付日 <u>平成26年7月16日</u> (保守点検時)	②穴を開け流出を抑える 槽内臭突用キャップと同型

5. 対策の効果

キャップの取付状況	2次処理の状況
	
1次処理流出水の勢いを抑え るとともに、2次処理の戻り水 が減少でき1次処理2室及び 2次処理機能を安定させる	SSが減少し生物膜が生成する

6. 保守点検時の留意点

- ① 槽内に異常な水位上昇の跡がないか確認する
- ② キャップを取り外し、穴の閉塞確認と洗浄を行う
- ③ キャップの取付について清掃業者へ申し送る

7. 清掃時の留意点

- ① 適正量引抜き区分 ○-○-☆
 - ② 槽内に異常な水位上昇の跡がないか確認する
 - ③ キャップを取り外し、穴の閉塞確認と洗浄を行う
- 【ろ材の形状】 1次処理1室:無し 2室:骨格様球状